

【和鉄の道 2025】【鉄の話題 隕鉄鉄器の復元】 インターネット掲載の整理転記

宇宙の賜物・隕鉄を素材とする原始鍛冶の復活へ

興味津々で心待ちの隕鉄製「ホルスの目」復元完了の速報が届きました

人類・鉄創世記プロジェクト 活動報告【6】

ツタンカーメン王墓出土隕鉄製ウジャト（ホルス）の目

ー復元完了報告ー 2025年11月04日 発信

人類・鉄創世記プロ リーダー 愛媛大学教授 村上恭通

<https://readyfor.jp/projects/meteorite/announcements/402277>



このプロジェクトでは利器（刃物）以外の隕鉄製鉄器にも挑むことを新たなチャレンジの目的として設定しました。そのなかに装身具があるのですが、なかでも最も複雑で難しいのがエジプト、ツタンカーメン王墓より出土した「ウジャトの目」です。「ホルスの目」とも呼ばれます。ウジャトの目は守護や魔除けの護符として古代エジプトで使用されてきたものですが、ツタンカーメン王墓には、エジプト唯一となる隕鉄製品が副葬されていました。

このツタンカーメン王墓出土のウジャトの目は、今から 3000 年前をさかのぼる隕鉄製鉄器のなかでは最も形態が複雑で、それ故に加工も難しく、さまざまな金工技術が駆使された鉄製品です。素材までは私が整えましたが、その先には進めず、途方に暮れていました。

それを実現してくれたのが愛知県名古屋市の有限会社『ノヨリ』の2代目野依克彦さんと3代目佑月さんでした。まずは隕鉄を削り、細かな加工ができるのかどうか、そして細かな加工を妨げるような隕鉄内の傷や不純物がないのかどうか、話し合いを行いました。

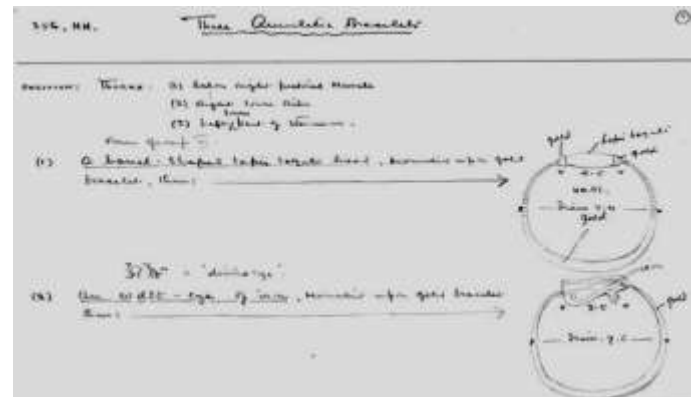
アルゼンチンのカンボデルシエロ隕鉄は、そのときばかりはどう加工しても細かな傷、亀裂から免れることはできませんでした。しかし野依父娘には挑戦してみましょと夏前に隕鉄素材を受け取っていただきました。そして昨日、完成品が大学に送られてきました。本日手にして言葉が出ませんでした。その美しさと隕鉄への加工が可能であったことに驚きました。今後、野依さんへの聞き取りや使用された道具の調査も必要となります。私の感動を本日中に支援者のみなさまと一刻も早く共有したく速報させていただきます。

【和鉄の道 2025】【鉄の話題 隕鉄鉄器の復元】 インターネット掲載の整理転記

人類・鉄創世記プロジェクト 活動報告【6】 心待ちしていた復元完了の速報が届きました

6. ツタンカーメン王墓出土隕鉄製ウジャト(ホルス)の目 ー復元完了報告ー

愛媛大学教授 村上恭通 2025年11月4日発信



ツタンカーメン王墓出土の隕鉄製「ウジャトの目」に関する
発見者、ハワード・カーターのメモ



野依克彦・佑月復元隕鉄製「ウジャトの目」